

ぼくせい

令和3年度 富士市立吉永第一小学校
一学校教育目標一 9月号
「あかるく やさしく たくましく」

コロナに負けない!

校長 市川 典秀

夏休みが終わり、分散登校という形にはなりましたが、子供たちの元気な声が学校に帰ってきました。

一日も早く学校に来たかった子供もいたでしょうし、まだまだ夏休みが終わってほしくないと考えていた子供もいたことと思います。様々な気持ちを抱えているお子様がいるとは思いますが、学校に子供の姿が戻ってくることはうれしいことです。これから、あせらず、ゆっくり、ぼちぼちと学校生活の時間にあったリズムを取り戻していきたいと思います。

昨年度は、4・5月に臨時休校があったために、夏休みの期間も2週間しか取れませんでした。今年も、夏休みの延長もありましたが、例年と変わらないくらい長さの確保をどうにか確保することができました。子供たちの夏休みの生活はいかがだったでしょうか。

東京オリンピックが行われ、無観客の中でも各アスリートの輝く姿を中継で見ることができました。開催についてはいろいろなご意見があったと思いますが、選手の頑張りには感動を覚えることが多かったと思います。子供たちには、そういう姿から何かを学んでほしいと思います。

さて、新型コロナウイルスまん延防止重点措置に続いて、静岡県にも昨年の4月以来の緊急事態宣言が発令されました。静岡県内や富士市内の感染者の数は、これまでに見たことがないほど多くなってきています。わたくしたちは、これまで以上に「子供たちの安全・安心」を最優先に教育活動を行っていきます。

学校では、子供たちに対して、再度「マスク着用（運動中や登下校中は必ず着用でない場面もあります。）」「手洗いの励行」「身体的接触を防ぐ（ソーシャルディスタンスの確保）」「給食時の同一方向、黙食」等を指導していきます。また、昇降口を通過する前に、健康チェックカードの確認をしていきます。これまでと同様、毎朝の確実な記入をお願いいたします。また、ご家族の方にかぜのような症状が出ると、子供たちは兄弟も含め出席停止になります。（配付した市のフロー図をご確認ください。）ご家庭でも、コロナから自分を守る方法について今一度確認していただくとありがたいです。

また、6月の授業参観が中止になったことで、学校でのお子様の様子を見ていただくことがなくなりましたが、今後の感染状況や緊急事態宣言の動きによっては、これからの学年、学校行事も変更や中止を考えなくてはならないことも起きてくるかもしれません。昨年のような休校という最悪の事態に発展しないように、安全を第一に考えて変えられることは、変えていこうと思います。

しかし、4月の学年だよりでお知らせしたように、「コロナ禍の状況でも、工夫したら子供たちのためにこんなことができました。」と言えるような学校であり続けたいと思っています。

また、今後身近なところで、感染者が発生することも十分に考えられますが、お互いを思いやる気持ちや、優しさをもって人に接していける子供たちにしていきたいと思ひますし、そういう吉永第一小学校区であってほしいと願っています。

以前の学校だよりでもお知らせしましたが、本年度は、昇降口の開放時刻を7:45とさせていただきます。（分散登校中は7:50です。）ほとんどのお子さんが、この時刻にあうように登校してくれています。しかし、20分以上前から昇降口の前で待っているお子さんも見受けられます。追いかけてこのような遊びをしている子供も見られ、この場で子供同士での接触が心配されます。学校では、地面に印をつけて並んで待つようにします。それぞれの御家庭の御都合もあると思ひますが、必要以上に早く登校しないように、重ねて強くお願いいたします。

